

第2学年 図画工作科学習指導案

日時 平成27年10月29日(木) 公開授業Ⅱ
児童 2年4組 男子14名 女子15名 計29名
指導者 鈴木 真由美

1 題材名 つないでどんどん(造形遊び)「つり下げてつなぐと」

2 題材について

(1) 題材について

本題材は、学習指導要領の第1学年及び2学年の内容A表現(1)ア「身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に思いついてつくること。」イ「感覚や気持ちを生かしながら楽しく作ること。」ウ「並べたり、つないだり、積んだりするなど体全体を働かせてつくること。」及び共通事項のア「自分の感覚や活動を通して、形や色などをとらえること。」イ「形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。」を基に設定したものである。

紙をはさみで切ったり、手でやぶいたりして、細長くしたものをつなぎ、体全体でかかわり、それによってできる形の特徴を味わいながら、つくりたいものやつくり方を思いつく活動である。さらに思いついたことを基に、発想や構想を繰り返し、つり下げたり、つないだり、組み合わせたりしながら、工夫してつくり続ける力を育てたい。

(2) 児童について

1学期には、新聞紙の感触を楽しみながら、並べたり丸めたりする活動から、思いついた形を作る造形遊びを行い、新聞紙のもつ感触を感じることができた。2学期のはじめには、机や教室にある学習用具などの形や色から、思いついて並べたり、つないだり、包んだりする造形遊びを行い、友達のつなぎ方を見て真似をしたり、一緒に活動したりする姿が見られた。

子どもたちは、造形遊びにとっても意欲的に取り組む。しかし、指示された通りに活動することはできるが、そこから自分なりのイメージを広げることが難しい児童や目標としていることから活動がずれてしまう児童も見られる。

そこで、事前に児童の手の届く高さにテープやひもを張るなど、紙をつるしながら児童が楽しく活動できる環境を設定し、つるした紙をつなぐことにより何かをイメージしたり、友達と一緒に作りたいものを製作したりできるようにしたい。

(3) 指導にあたって

本題材は、新聞紙の感触を楽しみながら、切ったり、つるしたり、つないだりする活動である。造形遊びをする中で、材料に働きかけて、ものをつくることの楽しさや友達との関わり、道具の使い方など学年が進むにつれて必要となる力を身に付けさせていきたい。また、つなげたり、つるしたりしてできた形を基に発想し、さらに工夫して何かをつくらうという意欲や友達のつくったものの面白さに気付くことができるよう、活動をしながら支援をしていきたい。

本題材の「見通す」活動では、写真から本時に行う造形遊びのイメージをもたせ、「振り返る」活動では、新聞紙を使った造形活動で感じたことや友達が作ったものなどを見て感想を発表させお互いに発想を刺激し合いながら造形遊びを行わせる。

3 題材の目標

- 新聞紙を切ったりつないだり、つるしたりする活動に、手や体全体で取り組もうとしている。【造形への関心・意欲・態度】
- 紙を切ったりつないだりしながら、つくりたい形を思いつくことができる。【発想や構想の能力】
- 紙の切り方やつなぎ方、つるし方などを工夫することができる。【創造的な技能】

共通事項

- ア 新聞紙に体全体に関わる活動を通して、できた形の変化や色をとらえること。
- イ つるしたり、つないだりした形全体を基に自分なりのイメージを思いつくこと。

4 指導計画(つないで どんどん:1時間扱い 本時1/1)

次	時間	学 習 活 動
一	1	新聞紙を切ったりつないだり、つるしたりしながら思いついたものをつくる。

5 本時の指導について

(1) 目標

新聞紙に、手や体全体でかかわりながら、切ったり、つるしたり、つないだりして楽しむ。

(2) 評価規準

観 点	B おおむね満足できる	Bに達成させるための手だて
造形への関心・意欲・態度	新聞紙の感触を体全体で楽しみながら、造形的な活動に取り組もうとしている。	イメージを先にもたせるのではなく、切ったりつなげたりする活動を通して、何に見えてきたのかを言葉にできるように、一緒に活動する。
発想や構想の能力	紙を切ったりつないだりしながら、つくりたい形を思いついている。	それぞれの場所でイメージを広げていけるように、児童との対話を通して、その思いを広げていけるように支援の言葉がけをする。
創造的な技能	紙の切り方やつなぎ方、つるし方などを工夫している。	紙の切り方やつなぎ方を掲示しておく。

(3) 指導の構想

見通す活動では、導入で以前に行った造形活動を振り返り、新聞紙の特徴を想起させる。そこから細くするための切り方、長くするためのつなぎ方を考えさせ、本時の造形遊びに入りたい。

終末時の振り返る活動では、教室全体に広がった作品の中を探検しながら、体全体で味わい、面白いところを見付けさせ、発表につなげたい。

場の設定としては、教室にテープやひもをあらかじめ張っておく。各自が用意した新聞紙以外にも包装紙やチラシなど色のついた紙も用意しておくことで児童が思い思いの場所でイメージを広げていけるようにしたい。

(4) 展開

段階	学 習 活 動	形態	○教師の働きかけと指導上の留意点 ●評価の観点 (方法) ☆見通す・振り返る活動
導入 5分	1. 以前に行った造形遊びを想起する。 2. 本時の課題を確認する。	全	☆以前に行った新聞紙を使った造形遊びの写真を提示し、新聞紙の特徴を想起させる。 ☆本時も新聞紙を使った造形遊びを行うことを知らせ、切り方やつなぎ方を考えさせる。 ○切り方、つなぎ方は掲示しておく。また、安全（走らない、はさみを持って歩かないなど）に留意して活動するように指導する。
			紙を切って、つるして、つないでたのしもう。
展開 32分	3. 新聞紙の感触や形の変化を楽しみながら、つるしたり、つなげたりする活動を楽しむ。	全 個	○紙をつり下げてできる形の感じに注目させ、そこから活動が広がるように支援する。 ○思うがままにつなげていく中で感じたことから、さらにつなぎ方を考え、縦や横に伸ばしていったり、包むようにつなげたり、隠れるような感じを生かしたりするなどの活動を支援する。 ○活動する中で、自分がつるしたものと友達がつるしたものをつなげるなど、一緒に活動することも認め、表現力を高めたい。 ●【造形への関心・意欲・態度・発想や構想の能力・創造的な技能】 (観察、子どものつぶやき)
終末 8分	4. 本時の振り返りをする。	全	☆本時の活動を振り返る。 ○教室全体に広がった作品の中から、それぞれの面白さを見つけさせる。 ○活動して気付いたことや活動の面白さについて感想を発表させる。
			<ul style="list-style-type: none"> ・～さんの新聞紙が～みたいになっていたのが、面白かったです。 ・新聞紙をつり下げたら、～みたいになって楽しかったです。